

2008年3月26日
東日本旅客鉄道株式会社

宇都宮・高崎・常磐線の東京駅乗り入れ工事の着手について

JR東日本では、現在上野止まりとなっている宇都宮・高崎・常磐線の列車を東京駅に乗り入れるルート（以下「東北縦貫線」）の工事に、2008年5月より着手いたします。

東北縦貫線の整備により、宇都宮・高崎・常磐線の各方面から東海道線東京・新橋・品川方面への直通運転が可能となり、並行する山手線や京浜東北線の混雑が大幅に緩和されるほか、乗り換えの解消や所要時間の短縮が可能となります。なお、完成は2013年度を予定しており、具体的な輸送計画については今後検討を進めてまいります。

1. 工事概要

【別紙 - 1、2 参照】

現在、東京～上野間の在来線は、山手線と京浜東北線のみとなっていますが、新たに宇都宮・高崎・常磐線を東京駅に乗り入れるルートを新設します。新幹線と在来線の安全・安定輸送を確保しながら工事を進めてまいります。

主な工事内容

高架橋新設 約 1.3km

（内訳）・重層部区間：約 0.6km

・アプローチ区間：東京方、秋葉原方にそれぞれ約 0.35km

重層部区間では、新幹線高架橋の上に新たに東北縦貫線の高架橋を新設します。

アプローチ区間は、重層部に取り付けるために、既設在来線高架橋の撤去・新設及び改良を行う区間です。

線路改良 約 2.5km

（内訳）・東京駅～神田駅間：約 0.9km

・秋葉原駅～上野駅間：約 1.6km

線路改良区間では、既存の高架橋上の線路を改良します。

電気設備 電車線・信号設備等の新設・改良

その他 防音壁などの環境対策

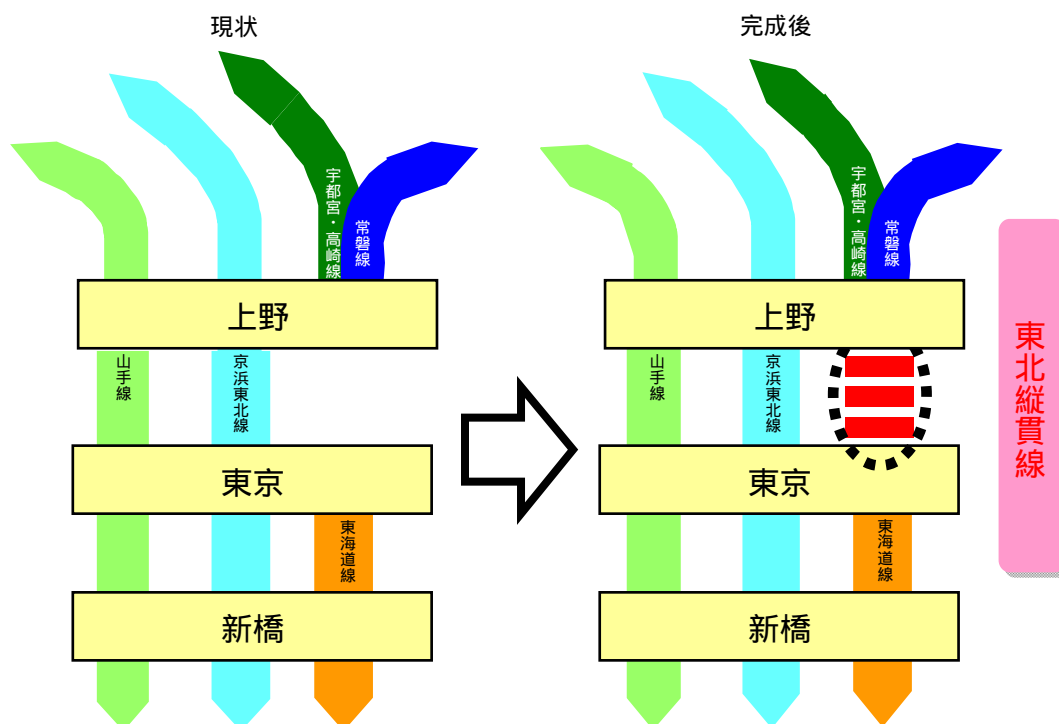
2. 工事期間

2008年5月から工事に着手し、2013年度の完成を予定しています。

■ 計画概要

現在、宇都宮・高崎・常磐線は上野駅終点となっていますが、神田駅付近の東北新幹線高架橋を重層化し、東京～上野間に新たに線路を敷設することにより、宇都宮・高崎・常磐線の各方面から東海道線東京・新橋・品川方面への直通運転が可能となります。

これによって「混雑緩和」「速達性の向上」「鉄道ネットワークの強化」が図られます。東北縦貫線は、旧運輸省（現国土交通省）における運輸政策審議会答申第18号によって整備が位置付けられています。



■ 期待される効果

・ 混雑緩和

朝通勤時間帯の混雑率が最も高い京浜東北・山手線上野～御徒町間で、混雑率が大幅に緩和されます。（2006年度：京浜東北線213%、山手線216%）

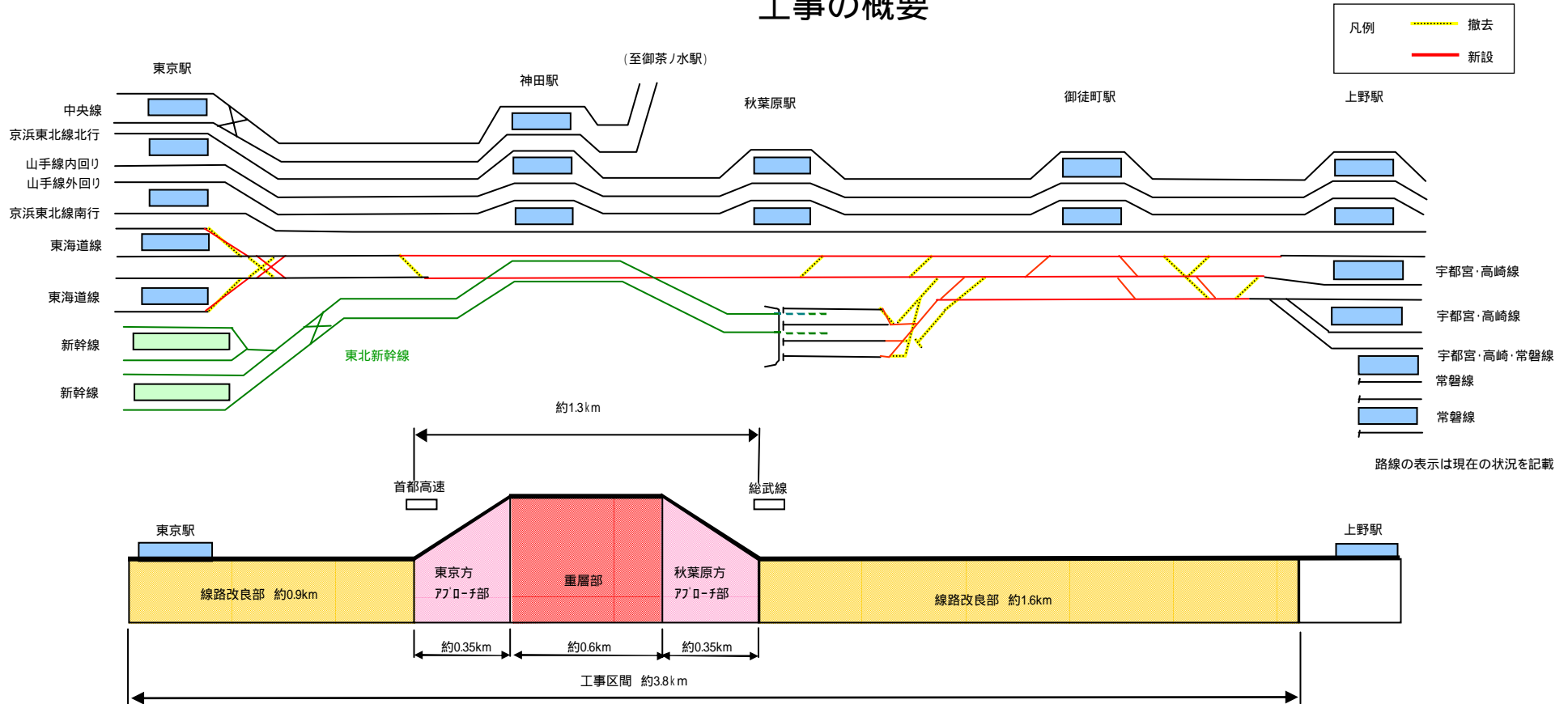
・ 速達性の向上

直通運転により上野駅や東京駅での乗り換えが不要となり、所要時間が短縮されます。

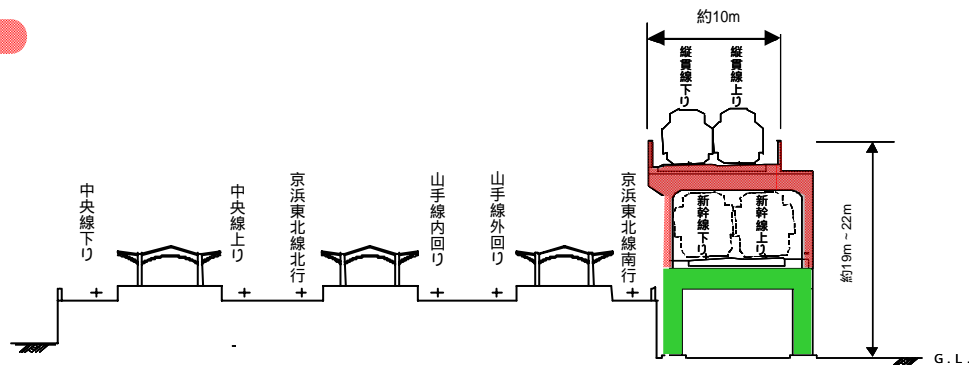
・ 鉄道ネットワークの強化

首都圏を南北に結ぶ輸送ネットワークがさらに強化されることにより、相互の交流を促進し、地域の活性化にも寄与します。

工事の概要



重層部



秋葉原方アプローチ

